

随筆

津市にも市立病院があったんだ！

飯田良樹（久居一志地区）

四日市市、松阪市、伊勢市、名張市など各市には市立病院があり、市民の医療を担っている。何故、県庁所在地の津市には市立病院がないのか不思議に思っていた。友人は三重大病院があるから市は作らなかつたのではと。

ここに謎をとく資料が見つかり、調べてみるとなるほどと納得出来た。



領収書の下を拡大

古書店でこのような津市立病院と書かれた大正5年の領収書を見つけた。また、津市立病院改築記念絵葉書も同時期に入手出来た。昔に津市立病院があり、私が知らなかつただけであった。

三重県史（通史編 近現代1）やウィキペディアなどから津市立病院の経緯をみると、
 明治9年2月 度会県山田岩淵町に度会県医学校設立。山田岡本町の山田病院を附属病院とした。
 明治9年4月 度会県と三重県の合併により、三重県医学校となる。
 明治9年9月 津・大門町（場所不明）に移転。
 明治10年2月 文部省により医学校と認められる。
 明治11年1月 附属病院を箕手山（榮町）に竣工。
 明治19年3月 三重県医学校廃止。附属病院は三重県公立病院として存続。
 明治22年9月 公立病院の内眼科医長 今井 通が三重県公立病院を20年間借り受けて私立今井病院（三重県私立病院）と改称。
 明治23年～明治43年 私立今井病院
 「津市小観」明治34年によると地籍1900坪、建坪600坪、病室の坪数390坪、医師5人、調剤

師2人、看護婦5人
 明治43年4月 三重県から津市に移管、津市立病院と改称。

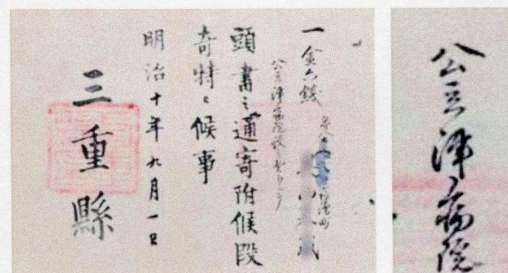
昭和4年 病院本館、コンクリート造で新築。
 昭和18年5月 三重県議会、県立医専設立を承認。
 昭和19年4月15日 津市立病院が医専附属病院となる。

以上が経緯である。津市立病院として明治43年から昭和19年まで存続していたのがわかった。

昔、父が務めていた三重県立医科大学附属病院の前身であることも判明した。

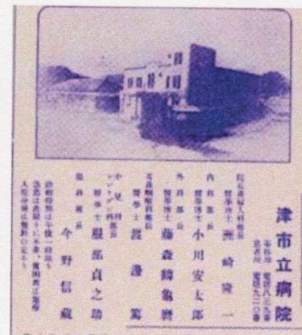
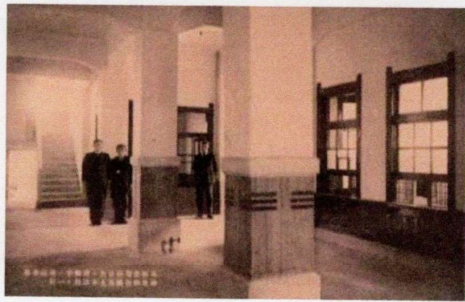
そういえば、私が奈良県立医大に入学した時に、住民の人に「この大学病院は昔には八木の共同病院と呼んでたよ」といわれたのを思い出した。そういえば、八木（橿原市）には橿原神宮があり、皇紀2600年（昭和15年）があった関係で昭和20年に軍医養成学校の奈良県立医学専門学校（旧制医専）が出来たのか？何故奈良市内につくらなかつたのか？これはもう少し奈良県立医大創設の研究余地がある。

では津市立病院に話を戻し、津市立病院に関係した収集資料を見ると、



明治10年9月 公立津病院設立費トシテ
 金6 銭の寄付領収書 三重県

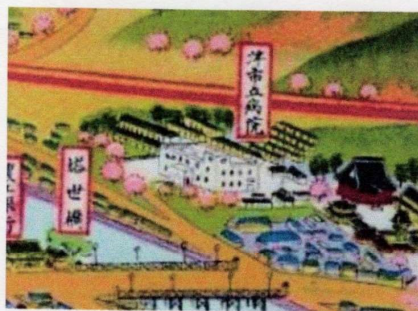
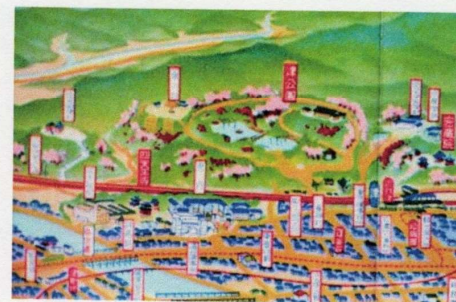
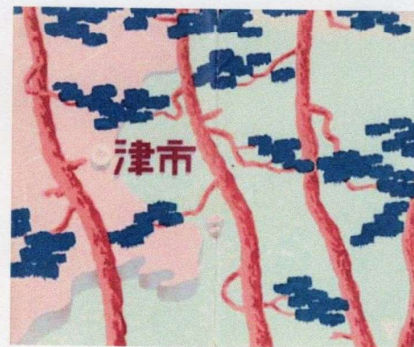
三重県医学校の附属病院を目指して三重県が公立津病院と名付けて寄付を集めたのか？



吉田初三郎の昭和5年鳥瞰図と裏の解説にコンクリート造の病院写真（病院改築記念と同じ写真）と病院スタッフがあげられていて、「貧困者は施療入院分娩は無料の定あり」と書かれている。

以上、私が無知な為に津市立病院が存在していたのを知らなかったが、資料が手に入り調べてみると、三重県や津市の医療情勢の一端を知ることが出来た。

昭和4年にコンクリート造の病院に改築して、昭和5年1月発行の「津市立病院改築記念」絵葉書。発行は津市役所となっている。平面図が入っていて次の鳥瞰図と比較すると写真よりも良く本館と病棟の立体的な配置がわかる。屋上撮影では小川院長以下スタッフが撮影されている。



昭和26年津市発行 県立大学医学部と医大病院